



# ハンドメイドボランティア タオルケア帽子 福井市東藤島公民館



「ハンドメイドボランティアタオルケア帽子」の皆さん。胸元を飾るのはタオルの切れ端を利用して作った小さな花

グリーンフェイク福井でも、フェイスタオルの寄付募集やタオルケア帽子の作り方の講習を行っている。自宅療養などでタオルケア帽子を希望する人がいれば、自宅に配達することも可能だ。

詳しくはグリーンフェイク福井のホームページを確認→

タオルケア帽子

「抗がん剤の副作用による脱毛で悩む患者さんに届けよう」と、タオルケア帽子の制作を続けているボランティアグループがある。福井市東藤島公民館の「ハンドメイドボランティアタオルケア帽子」は2018(平成30)年、ボランティア推進事業としての講座に参加した人から「もっと続けたい」という声が上がったのが始まり。現在は、60～80代の女性12人が、同公民館の人材育成事業として、主事の木村雅美さんのサポートを受けながら活動している。

フェイスタオルを使って作るタオルケア帽子の優しい手触りは、敏感になっている肌に負担が少ないという。デザイン性もあり、汗をかいても繰り返し洗濯ができる。縫い目が硬くなら

ないようすべて手縫いだ。メンバーらは普段は自宅で縫製作業を行い、公民館での活動日(毎月1回、第1火曜日)には、近況や作業の進展を報告し合ったり、糸くずが出やすいタオルの裁断を申し出ている。「おしやれを楽しんで前向きな気持ちになってほしい」「身近な人ががんで闘病していて、かき立てられる気持ちで出来ることをしたいと思った」「ちょっとでも明るい気持ちになってもらえたらうれしい」など、メンバーから聞こえてくる声には、痛みや不安の中にいる闘病中の人に寄り添いたいという気持ちが感じられた。同館長の小島敏弘さんは、「誰かが強いられる参加ではなく、皆さん自発的に参加して下さっていて、地区と人の温かい心がつながっている感じがする。この輪が広がってほしい」と活動に期待を込めていた。

会ではタオルケア帽子を毎月70～100個仕上げています。仕上げた作品は検品後、活動をとりまとめている団体「グリーンフェイク福井」を経由して県内の拠点病院5カ所(福井大学病院、県立病院、福井赤十字病院、済生会病院、敦賀病院)に届けられている。

「贈答の慣習の変化とともに、タオルの寄付がなかなか集まらなくなったのが今の課題」と話す木村さんは、活動に使うフェイスタオルの寄付を広く呼びかけたいという。タオルは白無地や企業名が入っているものを選ばずに限定。厚みや色柄は問わない(若い世代には黒なども人気という)。寄付の申し出や活動に参加してみたいと思った人は同公民館(☎0776-54-0039)へ。活動は地区外からの参加も受け入れているようだ。

## あなたの知らない中国茶の世界

中国緑茶を入れる時、よく利用されるのはガラス製の茶器です。高さのあるコップに茶葉を入れ、お湯を注ぎそのまま飲む方法や、ガラス製の壺(急須)で日本茶を入れるように入れます。というのも緑茶は80℃程度のお湯で入れるので、茶器に保温力はありません。あまり細かいことは気にせず、熱湯を作りしばらく置いてやや冷めたかな、という程度のお湯を使えばよいでしょう。容量150mlの壺(急須)に対し緑茶3g程度使えばよいでしょう。公道杯や杯子(コップ)に注いで味わいます。緑茶に洗茶は必要ありませんが、気になる人はサッとやってもよいと思います。3～5煎は入れられます。ガラス製の茶器の良いところは茶葉の開くようすや、水色(すいしよく・お茶の色)がよく観察できることです。



水野さんと焙煎機。焙煎機は「浅煎りに向いていて、香りを引き出しやすいのが特長」だそうです



「ドロップバッグコーヒースーツ(1,200円)」女性が思わず手に取りたくなるようなデザインを意識したというパッケージデザイン。建設中の焙煎専用の工房が完成したら、自作のスーツと組み合わせオリジナル商品も企画してみたいそうです

筆者: 石泉美さん  
中国国家高級茶艺師資格所有。80℃のお湯で入れますといましましたが、中国のお茶屋さんでは沸騰したてのお湯で入れるお店もありました。高い温度で入れるとキリっとしたお茶の強い味が出ます。低い温度で入れると甘くまろいのある味になります。つまり細かいことはあまり気にしないで大丈夫ということです。

# 今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募方法 ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号 ③現在購読の新聞名 ④さんぽみちへのご意見・ご感想 ⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「スタート」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

- はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞社内 「さんぽみち」2月号プレゼント」係
- メール osanpo@fukuikoho.co.jp
- LINE ID: @059fzwww
- ホームページ 投稿フォームから

※応募の際は「さんぽみち」2月号プレゼント係」と入力して下さい

**Etape coffee**  
ドロップバッグコーヒースーツ  
(5パック入、1,200円) **3人**

締め切りは3月20日(木)必着  
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

**スタッフ日記** 3月5日は「啓蟄(けいちつ)」。いよいよ季節は春らしくなってきます。この時期になるとわが家の庭の片隅に「フキノトウ」が顔を出します。ほどよい苦みがくせになるフキノトウは春の味。ふきみその苦みと香りは白いご飯が何杯も進んでしまう一品。フキノトウの天ぷらは塩で食べるのが一番。もちろん、天ぷゆに大根おろしを添えて頂くのもおいしい。皆さんはフキノトウをどのように楽しんでいますか。



# MINIEの気になるお店をご紹介します

ローカルフードホールエリア  
肉はナカノ MINIE店

「若狭牛すき焼き定食」(1,980円～)。熟成若狭牛とたっぷりの野菜を大野の青豆しょうゆを使った自家製特製わりしたで味付け。食べ終わった後はぜひ残った卵をご飯にかけて食べてみて!

「若狭牛入りハンバーグ定食」(1,650円)。手切りの肉を混ぜ込むことで、肉の食感とうま味を存分に味わえる。お肉屋さんならではのハンバーグ。さらには付いて栄養バランスもばっちり。子どもがシニアアラムまで幅広い世代に人気

今回紹介するのは、MINIE(≡)のローカルフードホールエリアの中心にあり、若狭牛を中心とした県産の肉を使用した料理や総菜を提供する「肉はナカノMINIE店」だ。「肉はナカノ」は坂井市春江町のアルプラザ・アミ内に大型店舗がある精肉店で、小売りの肉やコロッケ、唐揚げなどの揚げ物、サラダ、和え物などの総菜を販売。地元住民の食卓を支えている。MINIE店は「肉はナカノ」の新形態の店で、パズスタイルで気軽に「ちよい食べ」「ちよい飲み」ができるお肉屋さんだ。「黒毛和牛コロッケ」(1個280円)などの揚げ物メニューや「ふくいポークのあらびきフランクフルト」(980円)など、精肉店ならではの料理を、ビールはもちろんソムリエが選んだワインなどとともに気軽に楽しめる。マネージャーの中野直正さん(33)をはじめ



とした笑顔いっぱいのスタッフが醸し出すウエルカムな雰囲気は、MINIE初心者にもぜひお薦めしたいお店だ。

この冬からランチメニューで人気の定食メニューを夜も楽しめるようになった。店一押しの「若狭牛すき焼き定食」は熟成若狭牛とたっぷりの野菜をお店の味で気軽に楽しめることあって、働く世代を中心に人気の一品。「うすぎりソーストンカツ」や「塩から揚げ」「チキン棒」などのおなじみの総菜メニューも充実。少量ずつ何種類かをMINIEの「シェアテーブル」で楽しんだり、会社や遊びの帰りにさっとテイクアウトしたりもできる。また、2月から肉の販売も開始。若狭牛の切り落としやこま切れ肉が気軽に購入でき、ますますオープンから間もなく1年を迎えるにあたり、中野さんは「県

肉はナカノMINIE店  
●福井市中央1-3-5  
FLUKUMACHI BLOCK MINIE1階  
●0776-30-1129  
●午前11時～午後11時(L.O午後10時30分)  
●月曜日(祝日の場合営業、その週の木曜日(日休))  
■「肉はナカノ」ホームページで情報発信中

※価格はすべて税込込み。内容、価格は変更になる場合があります。

## コーヒーは好きですか スペシャルティーコーヒーのネットショップ Etape coffee (エタップコーヒー)

近年、自家焙煎(ばいせん)でコーヒーを楽しむ人や、専門的な焙煎技術を学び情熱をもって起業する人の話をよく聞くようになってきた。坂井市の焙煎士水野あゆみさん(34)もその一人。2月24日にネットショップ「Etape coffee」をオープンした。子どものころからケーキ屋さんになるのが夢だったという水野さんは、金津高校在学中に友人らと挑んだ「第1回貝印スイーツ甲子園」で優勝し443校1100チームの頂点に。高校卒業後、製菓専門学校を経て「西洋菓子倶楽部」(本社・坂井市)に入社し、福井県洋菓子協会主催の県デコレーションケーキコンテスト米粉を使った洋菓子部門での金賞受賞や、同コンテストグラン・ガトー部門で最優秀賞を受賞するなど、パティシエールとして活躍してきた。結婚、出産を経て、現在はパート勤務で仕事を続けている。

転機となったのはコロナ禍。かねてからスペシャルティーコーヒーに魅了されていたが、“おうち時間”が増え自宅で手ドリで焙煎したり、ハンドドリでコーヒーを淹(い)れたりするうちに、さらに楽しさを実感。中でもパティシエールの職業柄が「淹れる」こと以上に「焙煎」に興味向き、1年前に焙煎士として起業を決意。いよいよネット展開をスタートさせることになった。

水野さんは「豆の種類や焙煎、淹れ方によって引き出されるさまざまな華やかな香りやフルーツのようなすっきりした酸味、ハチミツやチョコレートのような甘さなど、繊細な味わいの見極めはパティシエールとして

培ってきた感覚とリンクする」と話す。「おいしいコーヒーのためにはまず焙煎」と断言し、県内にまだ数台しかないという焙煎機を備えた。「高精度な温度管理をパソコンと連動して行い、上質な焙煎を再現できるので品質にもブレがない」と笑顔だ。水野さんは「おいしい豆があれば特別な機材をそろえなくても、急須で注ぐのも有りです」焙煎した豆は、エイジングと言ってしばらく時間を置いてからのほうが実はおいしいんですよ」など、興味深い話を披露しながら「苦いだけじゃないコーヒーの底なしの魅力を知ってほしい」と話してくれた。今後はWEB展開のほか、イベントやポップアップストア(期間限定ショップ)でも販売してみたいと意欲を見せている。



## 夢がギュッと詰まった 宝箱のようなお店にようこそ 福井市栄町 5ive(ファイブ)

燭台やキャンドルが並ぶ店内の様子

「キャンドルと小さな花束がセットになったギフトボックスがある。最近は「プレゼントにキャンドルを」と、買い求める人も多そうです。組み合わせは変更可能

昨年7月、福井市栄町の「森田駅前」交差点南西角にオープンした「5ive」(以下ファイブ)。キャンドルアーティストの筑美絵(かきよえ)さん(41)ののお店だ。筑さん手作りのキャンドルのほか、キャンドルスタンド、トレイなどの雑貨に加え、アクセサリーやアート作品、キャンドルなど、筑さんがほれ込んだ5人の作家・アーティストの作品も販売している。店内は大切なものが詰まった宝箱のようで、訪れた人を一瞬でキラキラした世界にいでさせてくれる。

母親の影響で小さいころからモノ作りが好きだった筑さんが、小さな炎の

揺らめきで人々に癒やしを与えるキャンドルの魅力にはまったのが9年前。キャンドル制作を学び、イベントなどでキャンドル販売やワークショップを開催していた。次第にファンが増え始め、筑さん自身もキャンドルの魅力をもっと広めたいと考え、店舗をオープンした。グレーを基調にしたスタイリッシュな店内には、アンティークの棚などに商品がセンス良く並び、筑さんが店舗オープンするにあたって最も力を入れたかったというワークショップスペースも広々。「キャンドルをどういう時に使っていいかわからない」という声もあるのだが、普段はインテリアとして飾り、一人になった時や、お風呂に入る時に電気を消し、キャンドルを灯して楽しむ人が多いそうだ。香りのするアロマキャンドルや、植物由来のろうを使ったもの、木芯を使用したものなど、さまざまな種類のキャンドルがあるの

Dear...大切な人に想いを届けよう  
ファイブでは3月20日(木・祝)まで店内イベントを開催中。ホワイトデーや送別の贈り物にぴったりのお菓子、ドリップコーヒー、ポストカードなどを販売。福井で人気の「トラス」や「ユウイロ」の焼菓子、「森雨珈琲」のドリップコーヒーなどがそろいます。品ぞろえは日によって変わるので、気になる人は問い合わせを



5ive  
●福井市栄町17-11  
●インスタグラムのDMから  
●午前10時～午後4時  
●不定休(Instagramで確認を)  
●店舗地図

新聞紙で作るちぎり絵教室

日時 3月15日(土) 午後1時30分～3時  
場所 ハビリン2階の「福福小屋」  
参加費 500円 持ち物 ふきん、新聞カラー一面  
対象 小学4年生以上(小学生は保護者同伴)  
定員 10人(先着順)  
講師 稲木美苗さん(新聞ちぎり絵コーディネーター)

新聞紙をちぎって下絵に自由に貼り合わせて作る新聞ちぎり絵は、絵心がなくても子どもからシニアまで楽しむことができます。完成した作品は越前和紙の台紙に貼り、世界で一つだけの味わいのある作品に仕上げましょう。

参加者募集  
こちらのQRコードからご予約いただけます

主催: 日刊県民福井・中日新聞社  
共催: 福井市観光物産館福福館  
問い合わせ・申し込み先  
日刊県民福井事業グループ ☎0776-28-8618 (平日 午前10時～午後6時)

読者からのお便りコーナー

お題は「受験の思い出」

深夜のラジオ放送を聴きながら勉強したことです。(越前市 70代 男性)

合格祈願の絵馬に漢字を間違えて書いてしまった娘。不合格かと思いきや無事合格でした。(笑)(坂井市 50代 女性)

神社参拝で合格お守りを頂き、毎日神頼みをして子どもの受験を乗り切りました。いい思い出です。(越前市 70代 女性)

受験当日に寝坊して親にたたき起こされ、遅刻しそうになった記憶があります(笑)(越前市 40代 女性)

大学受験の前日、朝まで眠れずボ〜とした頭で受けた学校だけが合格し、スッキリした頭で受けた学校は、ことごとく不合格でした。(坂井市 60代 男性)

高校合格発表の日、結果が怖くて発表を見に行くことをためらっていると、父が「大丈夫、見に行くぞ!」と発表会場まで連れて行ってくれました。無事合格していて涙が出て、それから父と大喜びしました。(福井市 60代 女性)